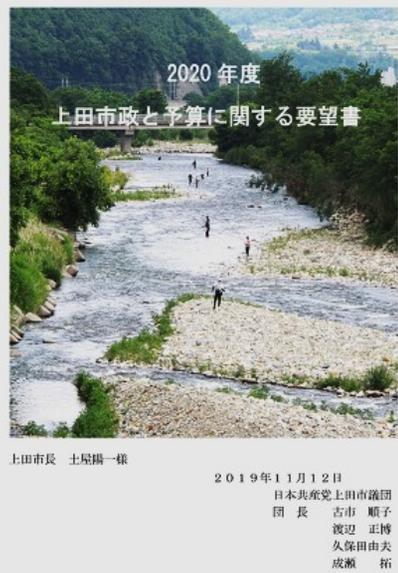


来年度予算要望書の提出の準備開始



上田市委員会に設置された自治体部会の初会合（9月27日）で毎年行っている予算要望書の作成と提出、懇談について検討を始めた。

自治体部会のメンバーは、農業分野、医療・介護分野、生活者の権利を守る分野、教育分野、中小企業分野と多彩で、仕事や普段の関心事から様々な意見を出してもらった。

11月12日に予定されている「要望書の提出」までに、多方面からの意見を集めて、整理して成案を得る作業となります。

昨年は、重点項目のみとして新規に「台風19号災害対策について」「安心できる公共交通、道路整備 について」を加えて、76項目でした。 ※写真は、昨年の要望書の表紙です。

「コロナ禍により先が見通せず不安」(事業者の声)

H23年以降増加したが、R元年は減少

質問 上田市の人口の社会動態の状況はどうか？

答弁 外国人を含めた転入・転出の人口の動きを示す社会動態は、平成23年以降毎年増加、平成30年には599人の増。令和元年には外国人の増加が少なく全体で68人減少した。

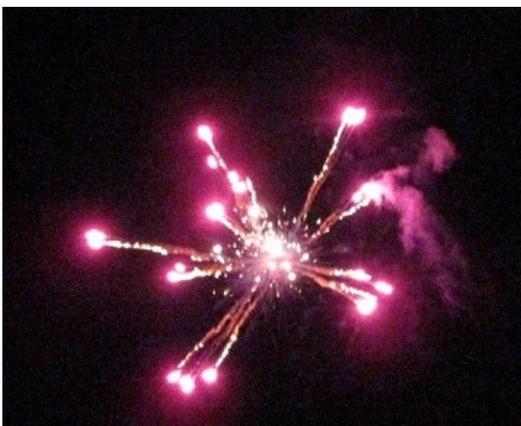
条例の理念を踏まえ、幅広く意見を聴く

質問 上田市商工会との懇談会で「コロナ禍により先が見通せず不安である」との意見がだされた。4月に施行した上田市中心小企業・小規模振興条例により、関係者の意見を聴取する予定はあるか？

答弁 売上が危機的に減少した旅館やホテルをはじめ、旅館組合、や観光協会など、各種業界団体に出向き、きたんのないご意見をお聞きし、各種経済対策に反映してきた。

今後も、条例の基本理念を踏まえ、中小企業をはじめとする関係者の意見を幅広く聴取する機会を設け、with コロナ、アフターコロナに対応した実効性のある施策の展開に努めていく。

9月写真通信



【写真の説明】 <左上から下へ> ◇ 9月22日夜、鹿教湯温泉で「#俺たちの花火」のプロジェクトの皆さんが花火をあげてくれた。私もサイトで紹介している商品を購入して支援した。◇ わが家の田んぼの鹿よけの柵に立派に育てたヘチマ。有効活用すること。◇ 通学路やウォーキング道路となっている依田川堤防を地元自治会で当番班が出動して草刈り作業。 <真ん中上から> ◇ 塩川地区陣場台地でワイン用ぶどう収穫作業は、日数と時間、人数などを縮小して実施。陣場台地研究委員会(堀内汀会長)の役員は、参加者のお世話役から実働部隊で働きました。◇ ここで採れたぶどうを使った新しい「梔子(まりこ)ワインシリーズ」が発売された。◇楽しみにしている下長瀬にある信州銘醸(株)から限定酒「松茸酒」も発売された。 <右上から下へ> ◇ 9月13日、まちづくり組織の長瀬地区会議(丸山登志一会長)が防災訓練を実施。内容は、防災研修会と放水訓練。防災研修会は、市役所危機管理防災課の出前講座。私は、防災部会長としてあいさつ。上田市消防団丸子第5分団(矢嶋直樹分団長)は、長瀬市民センター駐車場に昨年新設された耐震性防火水槽を使って放水訓練。◇ 市役所新庁舎建設事業は6階の屋根まで出来上がり、クレーンの撤去作業に入っていた。(9月30日)◇市議会本会議場は、議長席も発言席も新型コロナ対応するためアクリル板囲いを作った。